

論文審査の要旨

報告番号	甲第 3095 号	氏 名	林 純一
論文審査担当者	主査 大嶽 浩司 教授 副査 本田 一穂 教授 副査 小野 賢二郎 教授		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>本研究は感染症に罹患した慢性腎臓病（CKD）患者における 28 日後の生命予後を予測する新たなスコアリングモデル（新モデル）の作成とその検証を目的とした後ろ向きコホート研究である。2015 年から 2 年間に当科に入院した感染症合併 CKD 患者 282 例をスコアリングモデル作成群（derivation cohort : DC）と検証群（validation cohort : VC）へ無作為に分割し、DC を用いロジスティック回帰分析により新モデルを作成、VC を用い既存の SIRS 基準、qSOFA スコアと比較検討を行っている。年齢、脈拍数、Glasgow coma scale、血清総ビリルビン値、CKD ステージが新モデルのスコアリングに採用された。VC を用いて検証した結果、新モデルは qSOFA スコアと同程度に 28 日後死亡と有意に関連し、SIRS 基準に比し有用で、感度においては新モデルが最も優れていた。本論文は感染症を呈した CKD 患者における 28 日後の生命予後予測のスコアリングモデルとして、CKD ステージをスコアリングに取り入れた新モデルの作成と検証を行い、その有用性を示した点で学術上価値があり、学位論文に値すると判断した。</p> <p>論文題名：感染症を呈した慢性腎臓病患者における生命予後予測のスコアリングモデルの作成と検証</p> <p>掲載雑誌名：昭和学士会雑誌 第 79 巻 第 5 号 2019 年 掲載予定</p>			

(主査が記載、500 字以内)